

生横濱

元の理

今月も月次祭のお参拝ありがとうございます。
 うございます。

毎年3月の月次祭で拝読させていたたく『天理教教典』が「第三章元の理」です。御在世当時の教祖は折につけ元始まりのお話をして下さっていたそうです。『山名大教会初代会長夫妻時伝』によると、

教祖、御在世中の御話と云えば、大抵この泥海中のお話が多かったが、これをお聞かせになる前

立教188年
 3月号
 (通算第289号)

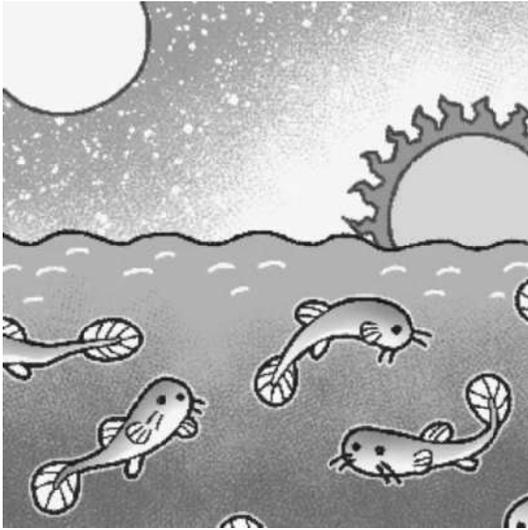
発行者
 天理教生横濱分教会

には、「今、世界の人間が、本をしらんから。互(たがい)に他人と云ってねたみ合ひ(い)、うらみ合ひ(い)、我(われ)さへ(え)よくばで、皆、勝手々々の心つかひ(い)、甚だしきものは、敵(かたき)同時なつて妬(ねた)み合つてゐ(い)るのも、元を聞かしたことがないから、仕方がない。なれど、この儘(まま)にゐ(い)ては、親が子を殺し、子が親を殺し、いぢらしくて見てゐ(い)られぬ。それで、どうしても元を聞かせなければならん」と、云う

ことをお話になり、それから、泥海中のお話をお説きになり、しまいに「か(こ)ういふ(う)訳(わけ)故(ゆえ)、どんな者でも、仲善(なかよ)くせんければならんで」と云つてお聞かせになった。

「元の理」のお話は若い頃から難解だという印象を持ち続けておりました。しかし、こうして教祖の親心そのものなのだという話を聞かせていただくと、何とも云えず心が溶けていくような気がします。

片意地はらず、素直なさんさい心で読ませていただくと、親神様、教祖の温かい親心に包まれる事が出来ると思えます。



そして、この広い宇宙の中の小さな星の上に、こうして人間世界が形成されて我々が生かされている事の奇跡を当たり前と思わず、何を見ても聞いても、ありがたいご守護であると感じの心で日々を暮らさせていただくことが、真のしあわせであるように思います。

本当は毎日でも『元の理』を拝読させていただき、ご守護に感謝させていただくべきだと思います。皆様も1年に1度だけでなく、なるべく拝読させていただくようにしましょう。

そして、この事を一人でも多くの世界の人に伝えて、陽気ぐらしが世界へ広まっていきたいと思えます。

会長



能登支援

先月2月14日～15日の日程で再度能登へ行かせていただきました。今回の支援内容は、横浜市内の小中学生が応援メッセージを書いてくれたホッカイロとキットカットを仮設住宅に住む方々に配りながらお話を聞かせていただく「傾聴ボランティア」でした。



天理教の方とは別に小学校の先生夫妻や、新聞記者の方も同行して下さい、その後記事にさせて頂いたおかげで、広く能登の状況を知っていただける良い機会となりました。

様々な方とお話をする中で、「あの時にいなくなっておれば楽やったのに」と笑顔で話して下さいる方や、一回地方へ避難した方が「ここは何もなくなくなってしまったけど能登の空を思い出すと泣けてきて帰ってきた」と語る姿がとても印象的で、悲しい出来事の中にも必死に前を向いて日々を過ごそうとしている姿に心を打たれました。



今月もまた能登へ行かせていただく予定をしています。なんと匡理も一緒に行く予定です。倒れた家があちこちある状況ですので、復旧復興にはまだまだ時間がかかると思います。何とか一日も早く能登の方々が元のような生活に戻れるよう、自分のできることをさせていただけたらと思います。

佑人



ご報告

・みんなの食卓
 2月16日はバザー、3月1日はカレー食堂、同9日はフードパントリーとこども食堂を開催しました。



お知らせ

・おやさまご誕生祭団参
 4月17日〜19日にかけておやさまご誕生祭の参拝、婦人会総会に出席するため教会から車を下させていただきます。
 ご一緒に行かれる方はぜひお声がけください。

・ひのきしんデー
 4月29日は「全教一斉ひのきしんデー」です。教会のあるみなと支部は保土ヶ谷公園と訓盲学院の二会場があります。
 どうぞ今からご都合つけていただいで、日々頂く御守護への報恩と一緒に汗を流させていただきたいと思えます。

18	11	7	6	3	1	4	26	23	16	11	3			
日	日	日	日	日	日	月	日	日	日	日	月			
教祖ご誕生祭	生横濱月次祭	比企家講社祭	邦明家講社祭	太田家講社祭	生旭月次祭	みんなの食卓	御霊祭	春の学生おぢば	ご本部月次祭	康靖家講社祭	大教会月次祭	生田川月次祭	益元家講社祭	生横濱月次祭

今月の予定

立教百八十八年二月月次祭祭文

この神床にお鎮まり下さいます元々の神親神天理
 王命の御前に天理教主横濱分教会長佐々木宏久慎んで申
 し上げます。旬刻限の到来と共に、教祖をたすけたいとの
 思召から、旬刻限の到来と共に、教祖をたすけたいとの
 の世の表にお現れになり、たすけ一条の道をつけて、陽
 氣ぐらしへとお導き下さいます御慈愛の程は、誠にあり
 がたく、勿体ない極みでございます。私共は、日々親神
 様教祖の親心に添わせていたただけるよう心がけ、持ち場
 立場の御用に勤め励まして、この名称の理にお許しを
 中にも今日の柄にあたりませぬ。只今からおつとめ奉仕者
 た定めの日柄にあたりませぬ。只今からおつとめ奉仕者
 参拝者一同呼吸を合わせ心一つに揃えて親神様の心と
 一つになれるよう教祖よりお教えいただいたおつとめを
 真剣に且つ陽気に勇んでつとめさせていただきます。二月の
 月次祭を執り行わせていた下さいます。本日は大教会よ
 り神田郷分教会の野沢孝弘先生がご巡教にお越し下さつ
 ております。後ほど、今の時旬における私共の心のあり
 様、通り方を諄々とお仕込み下さいます。しつかりと聞
 かせていただきます。御前には折柄の寒さも厭わず今日の
 いと存じます。御前には折柄の寒さも厭わず今日の
 楽しみに寄り集いし道の子ども達がおうたを唱和し一心
 につとめさせていた下さいます。御前には折柄の寒さも厭
 さいまして親神様にもお勇み下さいます。御前には折柄の
 上げます。私共は、教祖百四十年祭を十一月後に控え、
 改めて年祭の元一日を振り返り、尊き親のお働きを頂ける
 情や身上に悩み苦しむ人々に、尊き親のお働きを頂ける
 よう誠を尽くして、思召に適うたすけの歩みを推し
 進めさせていただきます。心でございませぬ。何卒、この心
 お受け取り下さいます。心でございませぬ。何卒、この心
 のご守護を賜り、世界一あつとめ奉仕の心でございませぬ。
 て互いにたてあつとめ奉仕の心でございませぬ。
 日も早く立てあつとめ奉仕の心でございませぬ。
 慎んでお願い申し上げます。

祭典役割

胡弓	三味線	小琴	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぼん	笛	ておどり	地	役	献	指	賛	扈	祭
弓	線	琴	がね	鼓	木	ぼん		り	方	割	長	方	者	者	主
勝田好子	田邊日向	佐々木匡理	佐々木惣	佐々木邦明	藤原彩	亀井美子	佐々木佑人	会長夫人	野沢先生	座りづとめ	佐々木邦明	真下育久	佐々木佑人	佐々木邦明	会長
勝田好子	田邊日向	会	佐々木惣	藤原彩	真下育久	亀井美子	佐々木匡理	会長夫人	野沢先生	前			佐々木匡理	佐々木雅敏	
勝田好子	田邊日向	真下育久	佐々木雅敏	佐々木惣	藤原彩	亀井美子	佐々木邦明	会長夫人	野沢先生	後		佐々木匡理	佐々木佑人	佐々木雅敏	伝供

兵神大教会

教祖140年祭 年祭活動の方針



教祖のひながたを手本に 『明るい心』で通りきろう

【実践目標】

一、身上おたすけ

身上のたすかりを願って動き、
親神様・教祖のお働きをお見せ頂こう

一、人だすけ

人のたすかりのために自分の時間を使おう

後編 記集

皆さま、こんにちは。

梅の花びらが散るのを見
ると春の訪れを感じます。

最近は、昔の先生の伝記
や自伝を読むのにはまって

います。寒いときに熱い想いが込められ
た文字を追っていると、私の心と体まで
もが熱くなってくるのを感じます。

また、今月1日に発売された茶木谷吉
信著の『心に吹く風』も読ませていただ
きました。著者の体験談をもとに平易
な言葉で綴られているのでとても読みや
すく、深くうなずきながら読み終えるこ
とができました。

ありがたいことに教会には沢山のお道
の本が眠っています。洋間の机や棚に飾っ
ておきますのでぜひ手に取って一読して
みてください。この肌寒い季節にはうって
つけです。

佑人